

第 61 回 JALSG 運営委員会議事録

1.開催日時 平成 25 年 12 月 14 日 (土) 14 : 50-15 : 20

2.開催場所 名古屋大学医学部附属病院中央診療棟 3 階講堂

3.出席者 80+委任状 22=102

4.審議の経過および結果

1) 幹事会報告

1.CS11 プロトコールの改正について

CS11 の症例登録が目標症例数を超えたが、副次的評価項目を加えて 2015 年 3 月末日まで延長する事が承認された。

2. 「戦略的研究支援組織 (仮)」 の設置について

集積データの解析および付随研究のアイデアを出し、研究を後押しする組「戦略的研究支援組織 (仮)」 を設置する。

- ・ 構成員は PI 経験者、データセンター委員、検体保存・付随研究委員、研究志向のある若手医師とする。
- ・ 論文には、若手医師を共著者に加える配慮をする。
- ・ 従来通り、個々の会員からの提案も受け付ける。

3.幹事会、運営委員会への NPO-JALSG 役員の参加について

JALSG の活動に不可欠な資金面での支援を含め、NPO-JALSG 役員に高所からのご意見を頂ける様、下記の規約改訂案が承認された。

規約 5.6. 事務局、データセンター、各委員会のメンバー、**特定非営利活動法人成人白血病治療共同研究支援機構 (NPO-JALSG) 役員、顧問**、ならびに幹事会で必要と認めた会員は運営委員会に出席し、意見を述べる事が出来る。しかし、議決権は有さない。

規約 8.6. NPO-JALSG 役員は幹事会にオブザーバーとして出席し、JALSG 研究の提案や発言はできるが、議決権は有しない。

4.移植に関する working group について

他のグループとの連携が必要な事案については、関連する幹事が幹事会で随時提案し、当該幹事、データセンター委員、関連試験 PI(および若手医師)による ad hoc working group を設置し、その会で検討する。

5.プロトコール作成支援委員会設置について

データセンターと PI 経験者からなる委員会を設置し、その中でプロトコール作成マニュアルについて検討する。

6.その他

- ・ 九州地区の新幹事に鶴池先生がなられた。
- ・ HP 上に IRB 承認、症例登録の有無の表を掲載し、年 2 回程度更新する。
- ・ 次回 JALSG 研修会について

講師：藤原康弘先生、熱田先生、宮村先生

2) 常設委員会報告

i. 施設審査・監査委員会より

- ・下記の関連病院が入会した。

関西電力病院、京都桂病院、済生会野江病院、洛和会音羽病院、高槻赤十字病院（以上京都大学の関連病院）

磐田市立総合病院（浜松医科大学の関連病院）

加古川西市民病院（神戸大学の関連病院）

ii. 検体保存委員会より

- ・検体保存は、STIM 以降は国立がん研究センター中央病院で、それ以前は熊本大学。
- ・保存検体があるので、研究を広く募集します。

3) 各種 project の提案

- ・CBF AML 次期 AML プロトコールと PI を早めに検討する。
- ・CS,CML の次のプロトコールを見据え、来年の 6 月には委員会が始動できる様にする。

4) 論文執筆状況・学会発表について

- ・AML Leukemia へ（清井先生）
- ・APL204 JCO 再投稿（柳田先生）
- ・CML207 集積と発表へ（5/24・25 の日血国際シンポジウム）
- ・AML 表面マーカー ASH 発表、Leukemia Research へ（入山先生）

5) その他

- ・ノイエス CRC 派遣について
契約フォーマットについて各施設で検討し、派遣 CRC を広く利用してほしい。
- ・ジェネリック薬品について
国が推進しているので、JALSG も推進せざるを得ない。